

南の横大道 (よこだいどう) について

中原街道が通過する野川の山崎から有馬の峯道を通り、牛久保境の大山街道に連絡する道である。江戸時代から大正時代にかけて御嶽道、あるいは大山街道の脇往還として使われた。さらに沿道には、鎌倉に所縁がある板碑・社寺・伝説などが残されており、鎌倉街道中道支線の可能性が極めて高い。御嶽道は、品川・羽田周辺で組織された御嶽講の信者が通った道である。六郷または大師の渡しで多摩川を渡り、大師道を経て中原街道に合流し、山崎から南の横大道に入った。有馬から菅生まで尾根道を歩き、弘法松から高石・細山を経て府中に達し、奥多摩の御嶽山に至った。一方、野川の大日前(大日根)から影向寺を経て、矢上川を渡り「おくまん坂」から有馬・馬絹境の尾根道に出て、高山で大山街道に合流する北の横大道もあった。



峯道(有馬九丁目)

⑨ 有馬大塚



「新編武蔵風土記稿」に大塚とある。径約 27m、高さ約 4m。一里塚、境界を示す塚などの説がある。

⑩ 長善寺

長善寺は浄土真宗の寺で、山号を有馬山という。この地には在間西明寺(ありまさいみょうじ)があったが、室町時代の永享5年(1433)、相模国を中心とする大地震が発生し倒壊した。その後、安藤一族は小杉に移り、木月の金剛院と合せて小杉西明寺が再建された。在間西明寺が小杉に移る際、有馬の豪族・持田氏に不動尊とともに託された板碑があるが、現在は見学できない。

⑪ 影取大蛇の伝説

池に潜む大蛇が、付近を通る娘を池の中に吸い込む悪事を働いたため、村人達が埋立てた。その後、裏山の崖が大音響とともに崩壊したという話である。この伝説は、土砂崩壊を示唆したものと考えられる。横浜市戸塚区にも同じ伝説が残されている。



⑫ 福王寺

臨濟宗、鎌倉円覚寺の末寺。本尊は十一面観音像。準西国稲毛三十三所観音霊場第12番札所。境内には、建武4年(1337)銘の板碑を中心に、多くの板碑が残されている。石段下には、庚申塔・地神塔がある。以前、寺は南の横大道付近の堂山にあった。



⑬ 大山街道

矢倉沢往還に作られた信仰の道で、江戸の赤坂御門から大山に向っていた。有馬の八幡坂には伯樂・髪床・出店などがあった。天保2年(1831)、渡辺華山は出店に立寄り荏田宿までの道程を尋ねている。

ポイント解説 (数字は裏面の散策コースのポイントに対応しています。)

① 中原街道

慶長9年(1604)、徳川家康が東海道の脇往還として整備した。江戸の虎ノ門から中原御殿を経て、大磯を通る東海道の化粧坂までをつないでいた。家康は江戸と駿河の往復や、民情視察を兼ねた鷹狩に利用した。古くは、その一部は律令制で制定された古東海道や鎌倉道下道に使われていた。

② 十三菩提遺跡

約7,000年前の縄文時代前期に遡る標準(標識)遺跡。出土した土器はソーメン状の粘土紐を貼り付けた繊細な文様で、考古学上重要であり、十三菩提式土器とよばれる。縄文時代前期の竪穴住居跡のほか、伊豆諸島の黒曜石も発見されている。

③ 十三坊塚



以前、13の塚が並んでいたと伝えられるが、現存する塚は一つである。塚の成因は諸説あるが、十三仏信仰に因むと考えられる。築造の目的には、新田義興の家臣の墓、武器の隠し場所、災厄除け説などがある。

④ 和田八幡宮

和田家は、鎌倉幕府の有力御家人・和田義盛の子孫という。和田氏は、和田合戦で鎌倉幕府の執権・北条義時に滅ぼされた。和田家は、有馬川と矢上川に挟まれた台地の支配権を有していたと伝える。

⑤ 御嶽神社

権六谷戸の南端に建つ。御嶽講は、農業・商業など民間の信仰に根ざしたものである。奥多摩の御嶽山に参拝し、盗難除けの武蔵国御嶽山大口真神の札を持ち帰った。

⑥ 権六谷戸

東西約900mに延びる半月状の谷戸。以前、棚田や畑が開かれていた。谷戸の歴史は古く、康応元年(1389)銘の板碑があった。落武者伝説である「権六とモロコシ」も伝えられている。



⑦ 南野川ふれあいの森

標高30~45mの傾斜地を利用した緑地。カシ・クヌギなど多摩丘陵(下末吉台地)の自然林を残している。



⑧ 有馬川

区内三番目に長い川で、流路延長は約5.1km。鷺沼谷(さぎぬまやと)の日本精工グラウンド付近を水源とする。五反田橋付近で矢上川に合流し、鶴見川に注いでいる。沿岸には湿地が広がっていた。

参考文献

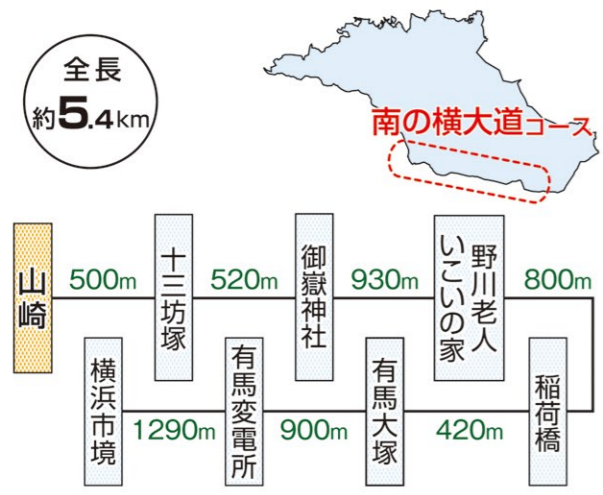
『新編武蔵風土記稿』平成4年 歴史図書社
『川崎地名辞典基礎原稿』平成8年 川崎地名研究所所蔵
『川崎市石造物調査報告書』昭和54年度 川崎市教育委員会

『川崎の庚申塔』昭和60年度 川崎市博物館資料調査団
『川崎の民俗』昭和54年 角田益信著
『小学校社会科副読本「記念誌」』川崎市立小学校



南の横大道

— 御嶽山へつなく道 —



インフォメーション: [山崎]へのアクセス
(バス)「鷺沼駅」から「小杉駅前」行きに乗車し、
[山崎]バス停で下車してください。

歴史ガイドまち歩き⑨ 南の横大道

地図の見かた

- ③ 散策コースとポイント
- 幹線道路
- - - 古道
- - - 旧村界
- - - 旧大字界
- 有馬村 旧村名
- 大谷 旧大字名
- 太田前 旧字名
- 見どころ
- 矢上川 河川名
- ♀ バス停
- WC トイレ



谷戸・谷(ヤト)の豆知識

ヤトは、丘陵が河川に浸食されて作られた地形である。V字型に近い谷で、浸水があるため、湿地になる場合が多い。関東地方に多く分布するが、以前は谷(ヤト)と表記していたが、難読のため、谷戸と表記することが多くなった。